

## 経営協議会議事要旨

1. 日時 令和6年1月23日(火) 13:30～14:30
2. 場所 弘前大学創立50周年記念会館2階「岩木ホール」
3. 出席者 福田(学長・議長)  
今井, 岡井, 木村, 櫛引, 九戸, 小谷, 須藤, 永澤, 中林  
若林, 岡本, 郡, 曾我, 橋本, 袴田, 安川の各委員17名
- 欠席者 なし
- 陪席者 山内監事, 吉田監事, 佐野理事, 柏倉学長特別補佐, 村下学長特別補佐,  
杉原国際連携本部長, 加藤法人内部監査室長
- 事務部陪席 太田総務部長, 浅利財務部長, 山口学務部長, 赤石施設環境部長, 古館研  
究推進部長(兼)社会連携部長, 中野医学部附属病院事務部長, 今国際連  
携本部調整役, 金沢総務企画課長, 工藤広報・情報戦略課長, 後藤人事課  
長, 九鬼財務企画課長, 長谷川財務管理課長, 佐々木契約課長, 羽角施設  
環境企画課長, 秋元医学部附属病院総務課長

#### 4. 配付資料

- 資料 1-1 【事前配付】 【概要】大学院保健学研究科心理支援科学専攻設置に伴う  
学内規則等の一部改正について
- 資料 1-2 【事前配付】学内関係規則等 新旧対照表(案)
- 資料 2-1 【事前配付】中期目標・中期計画の変更手続き等について(事務連絡)
- 資料 2-2 【事前配付】国立大学法人弘前大学の中期計画新旧対照表(案)
- 資料 3 【事前配付】国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
- 資料 4 【当日配付】国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について
- 資料 5 【事前配付】弘前大学校愛会事業について
- 資料 6 【事前配付】弘前大学の令和6年度運営費交付金について
- 資料 7 【事前配付】土地(弘前市学園町)の寄附受け入れ完了について
- 資料 8 【事前配付】令和5年度内部監査結果報告書

#### 5. 議事

議長から、令和5年11月21日開催の議事要旨(案)の確認が行われ、原案のとおり承認された。

#### ○審議事項

##### 審議 1 大学院保健学研究科心理支援科学専攻設置に伴う学内規則等の一部改正について

若林企画担当理事から、資料 1-1 及び資料 1-2 に基づき、大学院保健学研究科心理支援科学専攻設置に伴う学内規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

##### 審議 2 中期目標・中期計画の変更手続き等について

若林企画担当理事から、資料 2-1 及び資料 2-2 に基づき、中期目標・中期計画の変更手続き等について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

##### 審議 3 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について(令和5年人事院勧告対応)

岡本総務担当理事から、資料 3 に基づき、令和5年人事院勧告対応に関する国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

#### 審議 4 国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について（医師の働き方改革対応）

岡本総務担当理事から、資料 4 に基づき、医師の働き方改革対応に関する国立大学法人弘前大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

#### ○報告事項

##### 報告 1 弘前大学校愛会事業について

福田学長から、資料 5 に基づき、弘前大学校愛会事業について報告があった。

##### 報告 2 弘前大学の令和 6 年度運営費交付金について

岡本総務担当理事から、資料 6 に基づき、弘前大学の令和 6 年度運営費交付金について報告があった。

##### 報告 3 土地（弘前市学園町）の寄附受け入れ完了について

岡本総務担当理事から、資料 7 に基づき、土地（弘前市学園町）の寄附受け入れ完了について報告があった。

##### 報告 4 令和 5 年度内部監査（基本監査項目）の結果について

加藤法人内部監査室長から、資料 8 に基づき、令和 5 年度内部監査（基本監査項目）の結果について報告があった。

#### ○質疑応答（□：学外委員 ○：学内委員）

##### 1 弘前大学校愛会事業について

□ 一般会員と特別会員の違いは何か。また、特別会員の寄附者等の「等」はどういう方々を想定しているか。

○ 一般会員は令和 6 年 4 月以降に入学する全ての新生（在学学生、卒業生も入会可能）としており、特別会員は校愛会への寄附者とし、特典も考えている。また、特別会員は本学に貢献した方も対象としており、さまざまな方に大学とつながってほしいと考えている。

○ 本学には、後援会、同窓会（各学部同窓会と全学同窓会）があり、校愛会も含め、これらの組織で学生、卒業生、構成員とのネットワークを築いていきたいと考えている。

○ 本学同窓生の多くが県外にいますので、県外に向けた情報発信にも力を入れていきたい。

□ 同窓会と校愛会の組織は事業として重なるところがあると思うが、将来的にどのような役割分担を考えているか。

○ 将来的に名簿の管理は校愛会が一括して行う予定であり、学部同窓会の負担が減るメリットがあると考えている。また、校愛会への寄附金については、そのほとんどを寄附者が卒業した学部の同窓会事業等にあてることを想定している。

□ 卒業生は大事であるため、強い校愛会にしてほしい。

□ 卒業生以外も会員になることができるか。弘前大学、弘前大学附属病院に対して愛情を持ち、感謝している人はたくさんいるので、広く校愛会の会員になれるようにしていくといいと思う。

○ もちろん会員になることができる。特別会員は、本学の試みに賛同いただける方皆さんにご寄附いただき、会員になっていただけるようにしている。

## 2 弘前大学の令和6年度運営費交付金について

□ 成果を中心とする実績状況に基づく配分について、評価が向上する取り組みを考えていきたいという発言があったが、1年前から今までの間にどういう取り組みを行ってきたのか伺いたい。

○ 一例として、科学研究費不採択者に対し、学内予算により次につなげていくような研究支援をしている。また、寄附金の獲得実績を伸ばすために、基金担当副理事を2名配置し、本学育成品種りんごジュースの紹介と共に、本学の学生支援をお願いすることで、寄附者の新規開拓を図っている。

□ 科学研究費獲得件数・獲得額の伸び率がグループ内で1位となったことは教員の努力の結果であり、素晴らしい。

□ 運営費交付金の獲得につながるような事業等があれば積極的にアピールしてほしい。

## 3 令和5年度内部監査（基礎監査項目）の結果について

□ 共同研究契約における0円契約が多いことが課題とあるが、地域企業との連携を図る中で無償での活動が多いことが課題であるということか。

○ 特に県内との共同研究契約を行う際に、少額あるいは0円で契約したケースがある。大学が経費を負担して試みに共同研究をやってみる仕組み（共同研究トライアルファンド）もあるので、そういったものを活用してもらいながら、0円契約をなくしていきたいと考える。

□ ハラスメントの相談に対しどのように対応しているのか伺いたい。

○ 外部の相談窓口を設けるとともに、学内にも相談員を置き、どの相談員にでも相談できるような体制を取っている。相談はすべてハラスメント担当理事へ報告され、その後適切な担当で対応している。

以上